



同窓生の親睦の大切さ

同窓会会長 長谷川 孝



今年の三月に六十一期生四二一名が國學院栃木栃木高等学校を卒業し同窓会に入会しました。一期生から数えると三七、七四二名の同窓生になります。このように多くの仲間がいますことを嬉しく思います。

さて、近年では気候変動によりハワイ・マウイ島やカナダ、カリフォルニア、オーストラリアの森林火災が起こり、日本では夏の猛暑や線状降水帯による水害が多発しています。二〇一九年（令和元年）十月に二十七期生の卒業三十周年集いの会が計画されていましたが台風十九号の大雨により中止になりました。その後はコロナウィルスの感染防止の為、二十八期

生、二十九期生、三十期生の集いの会が開催できませんでした。しかし今年はコロナウィルスが第5類に移行しましたので五年ぶりに三十一期生の集いの会が十一月に開催できました。この三十周年集いの会は同窓会にとって大切な行事です。それは開催する卒業期のクラス幹事の皆さんが中心となつて作り上げるので、心のこもった会になるからです。まさに同窓会の会員同士の親睦が図れることです。私たちはコロナ禍の未曾有の事態を経験したことで前よりも人と会うことの大切さや人との縁をさらに大切にしていきたいと思

結びに、学校は今年度から實島範朗校長先生が就任され新たなスタートをしました。私たち同窓生は、これからも母校の発展のために力を合わせて応援することを誓います。

発 行 者
國 學 院 大 學
栃 木 高 等 学 校 同 窓 会
(〒 328-8588)
栃木市平井町 608 番地
電話 0282-22-5511

第 46 号

学びは國^コに^コにある

学校長 實島 範朗



今年四月校長に就任しました實島範朗です。奉職して四十一年、野球部監督二十五年、担任十一年、教頭二年を経て現在に至っています。

私の母校は姉妹校の國學院大學久我山高高等学校で、野球部の主将を務めていました。当時の校長が本校名誉校長佐々木周二先生で、久我山高高等学校長の役職を兼ねておられました。ある放課後の練習中、私が打った球が佐々木先生の車の屋根を直撃してしまい、注意されるかと思つたのですが、「力がついたな、さらに頑張れなさい」と反対に激励され、先生の人柄と懐の深さを感じ、こんな大人になりたいと思つた瞬間でした。先生の教えの一つである「鍛える教育」は、

その指導を受ける事で、受け身ではなく、「自ら鍛える」「自分をあえて厳しい場所に置く」という考え方に変わり、真の文武両道を貫くことができました。

また、私が本校に赴任した際に「教育とは愛情がすべて。しかし厳しさがなければならぬ」「粗削りでよい、直球を投げる子供を育てよ」「私学は内面、外面とも充実していなければだめだ」「鍛えに鍛えよ。私学の雄になれ」と言われた言葉が現在の教育の柱になっているとともに、先生の教えを胸に、今度は私自身が先頭に立つて生徒たちをその方向に導きたいと考えています。

「たくましく」「直ぐ」「明るく」「さわやかに」の校訓のもと、「本気で青春」「生徒一人ひとりが輝いてほしい」「その場所が國^コに^コにある」をコンセプトに教育活動を行っています。まず学習について、夏休みに四年ぶりに三泊四日のサマースクールを実施しました。「本気で取り組もう」と話したところ、いくつかのクラスは担任に預けたスマートフォンを四日間取りに行かず、学習に専念。話を聞くと「学習の邪魔になる」とのことでした。次につながる姿勢だと思っています。進学実績として、二人の生徒を紹介します。

一人目は生徒会長をしながら医学部の合格、「先生方のサポートがなければ、自分だけの力では合格を勝ち取る事はできませんでした」と話していました。二人目について、私が生徒達によく話すことは、「自分の能力に限界を作ったり線を引くな」と言っています。その生徒は一年生の時の進研模試（校外模試）の偏差値が30台でした。三年かけて三年生で偏差値80になり、早稲田大学六学部合格しました。

「行事は行うことを前提」に校内競技大会、國學院祭（文化祭・体育祭）を四年ぶりに実施しました。六十回目になる國學院祭のテーマは「一陽来福」本気で輝く場所が國^コに^コにある」です。一陽来福とは、「良くないことが続いた後に良いことがめぐってくる」と意味します。文化祭は来場者が二日間で三千人を超え、大盛況でした。体育祭は、秋晴れの最高の天気の下、水を得た魚のように生徒たちは躍動していました。真剣勝負あり、笑いあり、まさに「本気で青春」にふさわしい國學院祭であったと思います。

また八月二十七日に日本テレビの24時間テレビに生徒たちが出演しました。出演を決めた理由は、私が日頃から言っている「本気で青春」と24時間テレビの「明日の

ために今日つながろう」というスローガンが合致したからです。内容は四二二名が一人二〇〇mを走ってマラソンの世界記録に挑戦するという企画です。終了後、スタッフの方から「一生懸命さの中に品格」がある生徒さんたちですね。感動しました」とお言葉をいただきました。

部活動の活躍ですが、夏休みに行われた北海道インターハイに、柔道部男女、ハンドボール部男子、バレーボール部女子、なぎなた部女子が出場。男子柔道部一〇〇キロ超級で文理三年生の片山涼君が全国三位。文化部では、囲碁将棋部の特選S二年生黒川智美さんが全国五位、書道部の中高一貫三年生符文嘉さんは、誰も書いたことがない書に挑戦し全国三位の他校生に勝って、全国大会出場を果たしました。

また、二年前にはラグビー部が全国準優勝、野球部は三十七年ぶりに甲子園出場、いずれも國栃生

徒としての「人間性」で勝ち取ったものでした。

五月の全校朝礼で「挨拶は自ら」、六月は「挨拶プラス一言」をしてみようと言いました。すると多くの生徒たちが廊下ですれ違う時に「こんにちわ。今日は暑いですね」と、私が声をかける前に挨拶し、その事が楽しいと生徒達は話してくれ、それが今、浸透してきていることを大変うれしく思っています。コロナ禍を乗り越え、一陽来福のごとく、学校全体が明るく良い方向に向かっていくと思っています。

現在の高校の様子を書かせていただきましたが、十一月には同窓会行事として四年ぶりの「三十年集いの会（三十一期生）」が開催されました。担任や学年の先生を迎え、楽しかったことや大変だったこと、当時の思い出などをお話しました。校長室の扉はいつでも開いていますので、是非母校へお越しください。

中高一貫五期生同窓会

令和五年六月二十五日、中高一貫五期生（二〇〇六年卒・第四十四期）の同窓会を大宮にて開催いたしました。新型コロナウイルスが第五類に移行したことをきっかけに開い

た本会は、「三十路の集い」から約六年ぶり。三年時の元担任・恩師の瀬賀正博先生、御代田圭子先生、小田智巳先生、川上亨先生を囲み、同窓生の子ども十名を含む、総勢



三十名が集いました。

当日、中学校文化祭の映像や体育祭等の写真を流すと、不思議なことに記憶がよみがえり、「変わらないね」と、会話が弾みました。そんな様子を見て、ハミリビデオで私たちの姿を残してくれた親に感謝するとともに、反抗期真っ盛りだった当時の自分を反省しました。

また、瀬賀正博先生が、ニュージールランド語学研修（中三）の映像を、エピソードを交えながら見せてくださいました。二十年も前のことにも関わらず、まるで昨日のことのように詳細に語ってくださる先生方のお話を伺いながら、「懐かしい。」と笑顔がこぼれました。

一方、近況報告では、社会人や親になり、様々な経験を通した今

だからその顔もありました。「親になった今だからこそ、あの時の先生方の気持ちを想像すると、感謝の気持ちでいっぱいです。」と話す同窓生もあり、「成長したね。」という思いも共有しました。先生方は、そんな私たちの温かく声をかけてくださるとともに、今回参加が叶わなかった同窓生のことも案じてくださり、今もなお、五期生一人ひとりを大切に思ってくださっていることが伝わってきました。大人になり、自分が誰かに守られていると感じる機会はなかなかありませんが、同窓会を通して、親や先生、仲間たちの存在に気付くことができ、改めて、國學院での出会いに感謝です。

最後は、小西さんの元気な発声



による三本締めでお開きとなりました。久しぶりにみんなで輪になると、対面することのよさを実感しました。会場に来ていた子どもたち同士も仲良くなつて一緒に遊ぶ姿もあり、和やかな時間はあっという間でした。この小さな子どもたちも、それぞれの場所でも、自分を大切してくれる大人や仲間と出会い、かけがえのない時間を過ごしてほしいと、節に願います。

最後になりますが、開催にあたりご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。特に、育児や仕事で忙しい中、ともに幹事をしてくれた小池美緒（早乙女）さん、小屋敷明日菜（高橋）さん、関口玲菜（吉田）さん、ありがとうございます。

幹事代表 下脇 陽子（永塚）

31 期生 卒業30周年集いの会

国柄伝統のバトンは繋がる

三十一期生 実行委員会調整係 漆原 康史

十一月十二日(日)、同窓会のご支援をいただいて、国柄伝統の「卒業三十周年集いの会」が開催されました。

この集いの会は、卒業後三十年目の四十九歳の年に開催される学

年全体の同窓会で、卒業時のクラス幹事が中心となって運営し、長年途切れずに開催されてきましたが、最近の四年間は先輩たちの開催が中止になっていました(二十七年生は栃本市に甚大な被害を与えた台風十九号で、二十八、二十九、三十期生はコロナで中止)。



集いの会は先輩が一つ下の後輩クラス幹事を会に招待し、その後輩が一年前から準備をするという国柄の伝統引継形式で行われていましたが、四年間の休止期間を経ての開催でしたので、私達は一つ上の先輩の集いの会に招待されず、会の存在も知らないクラス幹事が多くいました。

そんな不安要素でいっぱいだった状況でしたが、同窓会総会に集まった精鋭クラス幹事メンバーの「やるよ!」の心強い一言で開催宣言をし、準備が始まりました。

私達が卒業した頃は携帯電話ではなくポケベルが主流だったので、個人的に繋がっていないクラスメイトへの連絡手段は、実家の電話にクラス幹事が電話をかけるという昭和的な方法で始まりました。電話をかけてもご家族が振り込め詐欺等の電話と勘違いされてしまい、思うように連絡が進みませんでした。が、努力の甲斐あって八〇七人中六〇七人の住所を確認して

案内を送り出し、開催に漕ぎ着けることができました。

当日は一五二名の仲間が参加し、三十年経っても懐かしい顔ぶれに一瞬で高校時代にタイムスリップ。恩師との感動の対面、近況報告や昔話に花が咲き、各自連絡先を交換して次回会う約束をしたりと、更に絆が強まったあつという間の三時間でした。この絆が強まる伝統の集いの会は、伝統ある同窓会のご支援のおかげと、改めて感謝申し上げます。

八月の24時間テレビでは、在校生が四二二人のバトンを繋ぎ、男子フルマラソン世界記録達成することができました。後輩の挑戦する姿に集いの会に参加を決めたという仲間もいて、三十一期生の母校を思う強い気持ちを感じながら、国柄伝統の集いの会のバトンは後輩の三十二期生へ繋がせていただきました。

クラス会開催

昭和五十五年卒業、普通科三年四組の私たちは、卒業四十二年、還暦を迎えた事を祝して九年ぶり十三回目のクラス会を開催しました。

開催にあたり、六名の幹事が中心となってクラスメイトのほぼ全員に連絡をとることができました。コロナが落ち着き、二〇二三年六月四日、大宮駅近くの「記念日&カフェテラスチュラ大宮」を貸し切り、賑やかで楽しいひと時を



令和 5 年 6 月 4 日(日)
普 3 - 4 (19期・S55卒)

《お知らせ》

◆卒業 30 周年集いの会
28 期生・29 期生・30 期生はコロナウイルス感染拡大防止の為、開催を断念せざるを得ませんでした。これからでも学年全体の会を開催するようでしたら、是非ご連絡をください。お待ちしております。
“補助金を含め集いの会と同様のお手伝いをいたします。”

◆クラス会・還暦の会
クラス会には 20,000 円、還暦の会には 250,000 円の補助があります。いずれも開催日の前に所定の申請用紙を提出していただきます。まずはご連絡をください。
國學院大学栃木高等学校同窓会
電話(学校の代表番号): 0282-22-5511
MAIL: yamanaka@kokugakuintochigi.ac.jp
同窓会や母校のことお気軽にお問い合わせください。

過ぎました。

今回、都合の調整が難しく参加できなかった方々から、次のクラス会の開催を望む声が寄せられていました。

引き続き定期的にクラス会を開催していこうと約束をし、解散しました。

古内三基子

会員だより

このたび、女優・モデルとして活躍しています石川恋さんと宇都宮ブレイクスのチアリーダーアシスタントディレクターの委文・茉奈美さんに原稿をお寄せいただきました。

思い出のとき

四十八期生 石川 恋さん

私は中学、高校と六年間國學院栃木に通いました。勉強や部活、友人との時間……全部に全力投球できた、悔いのない学生生活でした。そう言い切れるのは、身体と心がぐんぐん成長していく十代を、國學院の先生方に温かく、時には厳しく見守っていただきながら、クラスや部活の仲間とともに國學院の生徒として過ごせたからだと思っています。

そんな学生生活の中で特に強く思い出に残っているのは、応援部として活動した高校三年間です。毎年の野球応援では、野球部と一緒に甲子園に行き、応援部としてスタンドで踊ることが夢でした。残念ながら当時その夢は叶いませんでした。が、昨年國學院が甲子園への切符を手にし、私も県大会の決勝と甲子園での初戦を現地に応援に行くことができました。



皆さんが叶えてくれたこと、甲子園のスタンドで國學院の勝利の校歌が聞けたことに、当時が思い出され、本当に胸が熱くなりました。応援部での活動では他にも、文化祭や体育祭等でのチア公演に向けて、仲間とともに一つ一つの公演を作り上げていく楽しさや難しさを学びました。

試行錯誤しながら準備する過程、それを完成させ、公演をお客様に観ていただけた時の達成感や感動、失敗してしまった時の悔しさ……。現在私は女優・モデルとして活動させていただいていますが、お仕事を通して当時得た感情と通じるものを感じることが多々あります。今年三十歳になりましたが、当時から変わらず私は今も青春を生きている気がして、そんなふうな情熱を持ち続けながら今このお仕事をできていることを、心から幸せに思います。

先日、日本テレビ「アナザースカイ」のロケが栃木で行われ、私の思い出の地を巡りました。久しぶりに國學院にも訪れ、応援部の後輩たちと私の当時大好きだった曲を踊りました。忙しなく過ぎていく東京での日々、時にはいっぱいいっぱいになって

恩師の一言

四十四期生 委文 茉奈美さん

私は現在、男子プロバスケットボールの宇都宮ブレイクスに関わる活動をしています。今夏、W杯が盛り上がったので記憶に新しいと思いますが、Bリーグになる前からブレイクスのチアリーダー（ブレイクシー）として約十二年間踊っていました。プロバスケットボールのチアリーダーとして三期に亘り日本代表活動（アカシックヴィーナス）にも参加していましたが、昨シーズンでプレーヤーをひっそり引退し、兼任していたアシスタントディレ

しまうこともありましたが、変わらない栃木の風景があること、そして母校に赴けば、応援部顧問の宮崎先生を始め、たくさんの方々が「おかえり」と迎えてくださることに、帰る場所がある安心感を抱きます。

栃木で、國學院で過ごした日々があるからこそ、私は今も新たな目標に向かって走り続けられています。

生徒の皆さんには、貴重な学生生活を、青春を、存分に謳歌し、様々なことに情熱を持って取り組んでもらいたいのです。

その経験は必ず、歳を重ねても心の中で輝き続け、力をもらえるはずです。

私もまだ夢半ば。國學院の卒業生として恥じぬよう、今後もお仕事に邁進しますので、これからもどうぞ応援よろしく願います。そして、私も皆さんをずっと応援しています。

クターとしてチームの後進育成などに携わっています。



指導されたことがありました。反抗期真っ只中、青春ど真ん中の私に先生は『勉強が嫌い？苦手？別にいいよ。成績が悪い？俺はそこに怒ってるんじゃない、お前がそれに向き合えないことに怒っている。』とおっしゃいました。つまりは社会に出た時、苦手なことに向き合う力をつける為に学校で勉強をすると思え！と。卒業した今でも覚えているので、きっと相当響いたのだと思います。しかし反抗期真っ只中の当時は素直になれず。成績は低空飛行のままなんとか卒業はできました。

華やかな舞台に憧れていましたが、結局はあらゆる挫折の日々を過ごし、そんな中で出会ったのがチアダンスの世界。苦手なジャンルのダンスにも取り組み、チアスピリットを学び、自信をつけたくて単身渡米し海外挑戦するなど、好きなことに夢中になる為にはやるべきことから逃げないこと。大人になってからようやく向き合うことができたと思います。もちろん今も壁に当たることがあります。けれど、挫折と失敗、後悔も含めて全ての経験が私に足りなかった『自信』を持たせてくれました。いつも背中を押してくれる父が、やらなかった後悔より、何事もやってから後悔する方がいいと言ってくれたのも高校時代でした。十代の頃に与えてもらった言葉の数々は、実は自分にとっての道しるべになっていたのでしよう。後進育成に携わる身として、私の発する言葉がこの先誰かの道しるべになってほしいと願っています。

令和4年度同窓会一般会計収支決算

収入の部					(単位:円)
項 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減額	備 考	
前年度繰越金	6,175,440	6,175,440	0		
会費	入会金(本年度卒業生)	840,000	842,000	2,000	2,000円×421名
	30年会費(本年度卒業生)	10,500,000	10,525,000	25,000	25,000円×421名
	30年会費(既卒者)	1,000,000	1,120,000	120,000	20,000円×56名
	年会費(既卒者)	100,000	126,000	26,000	2,000円×50名 10,000円×1名 16,000円×1名
部活動後援積立金より繰り入れ	0	6,353,775	6,353,775	甲子園出場費用のため	
雑 収 入	100,000	487,332	387,332	銀行利息352円・マフラータオル162,400円(700円×383本 720円×304本)	
合 計	18,715,440	25,629,547	6,914,107		

支出の部					(単位: 円)
	項 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減額	備 考
運営費	印刷費	150,000	223,308	△ 73,308	総会案内状印刷 他
	通信費	2,100,000	1,893,391	206,609	会報送料 他
	消耗品費	300,000	202,070	97,930	事務用品 紙代 他
	支払手数料	40,000	32,668	7,332	振込手数料 他
	公租公課	0	0	0	
	会議費	150,000	4,794	145,206	総会・本部役員会 飲み物
事業費	会報発行費	1,100,000	1,029,805	70,195	
	学園助成費	1,500,000	785,000	715,000	入試説明会用チラシ作成他
	30年集い・遠征の会助成費	600,000	0	600,000	※コロナ感染防止の為に実施なし。
	クラス会助成費	600,000	20,000	580,000	20,000円×1クラス
	補助費	600,000	549,970	50,030	全国大会出場部激励金・永年勤続者記念
	記念品費	1,260,000	1,254,580	5,420	卒業記念品
渉外費	広告費・広報費	400,000	685,000	△ 285,000	甲子園・花園・国体・栃木市秋まつり 等
	甲子園出場後援費	0	8,035,000	△ 8,035,000	御祝金・助成費・花束・胡蝶蘭
慶弔費	御祝金	100,000	60,000	40,000	高校入学式・創立記念式典・卒業式
	弔慰金	50,000	20,000	30,000	役員母堂ご逝去 同窓生御香典
	見舞金	20,000	0	20,000	
	通信費	20,000	3,278	16,722	弔電
積立金	基金会計繰入金	3,000,000	3,000,000	0	
	部活動後援積立金	1,000,000	1,000,000	0	マフラータオル作成代
	同窓会設立70周年記念事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	
	高校創立70周年記念事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	
	予 備 費	2,000,000	442,870	1,557,130	マフラータオル作成代不足分
	次年度繰越金	1,725,440	4,387,813	△ 2,662,373	
	合 計	18,715,440	25,629,547	△ 6,914,107	
総収入額		25,629,547			
総支出額		21,241,734			
差引残高		4,387,813			

令和5年度同窓会一般会計収支予算

収入の部					(単位: 円)
項 目		予 算 額	前年度予算額	比較増△減額	備 考
前年度繰越金		4,387,813	6,175,440	△ 1,787,627	
会費	入会金(本年度卒業生)	780,000	840,000	△ 60,000	2,000円×395名
	30年会費(本年度卒業生)	9,750,000	10,500,000	△ 750,000	25,000円×395名
	30年会費(既卒者)	1,000,000	1,000,000	0	20,000円×50名
	年会費(既卒者)	100,000	100,000	0	2,000円×50名
基金会計より繰り入れ		0	0	0	
雑 収 入		100,000	100,000	0	
合 計		16,117,813	18,715,440	△ 2,597,627	

支出の部				(単位:円)	
	項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増△減額	備 考
運営費	印刷費	200,000	150,000	50,000	総会案内状印刷 他
	通信費	2,100,000	2,100,000	0	会報送料 他
	消耗品費	250,000	300,000	△ 50,000	事務用品 他
	支払手数料	40,000	40,000	0	振込手数料 他
	公租公課	0	0	0	収入印紙
	会議費	100,000	150,000	△ 50,000	総会・本部役員会・四役会
事業費	会報発行費	1,100,000	1,100,000	0	
	学園助成費	1,500,000	1,500,000	0	
	30年集い・遠征の会助成費	600,000	600,000	0	
	クラス会助成費	600,000	600,000	0	20,000円×30クラス
	補助費	600,000	600,000	0	
	記念品費	1,185,000	1,260,000	△ 75,000	卒業記念品(3,000円×395名)
渉外費	広告費・広報費	400,000	400,000	0	ケーブルTV・部活 他
	御祝金	100,000	100,000	0	
慶弔費	弔慰金	50,000	50,000	0	
	見舞金	20,000	20,000	0	
	通信費	20,000	20,000	0	
	基金会計繰入金	0	3,000,000	△ 3,000,000	
積立金	部活動後援積立金	1,000,000	1,000,000	0	
	同窓会設立70周年記念事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	
	高校創立70周年記念事業積立金	1,000,000	1,000,000	0	
	予 備 費	2,000,000	2,000,000	0	コロナ禍により開催できなかった集いの会・遠征の会助成費を含む
	次年度繰越金	2,252,813	1,725,440	527,373	
	合 計	16,117,813	18,715,440	△ 2,597,627	

令和五年六月十七日(土) 午後二時
國學院大學栃木学園教育センター
第六十一回同窓会総会(幹事会)が開催されました。本部役員のほか、五期生からはじまり三月に卒業したばかりの六十一期生まで、幅広い世代の幹事に加え、名誉会長である實島範朗校長、顧問の土田十教頭にも出席していただきました。
令和四年度の事業報告、決算、令和五年度の事業案や予算案など、例年通りの議事に加え、六十周年記念事業についてや新しい総会のあり方について議論されました。



令和 5 年度同窓会本部役員・事務局

役 員	相 談 役	川 福 基之 (理事長)	
	名誉会長	實 島 範朗 (校長)	
	顧 問	土 田 十 (教頭)	
本部役員	会 長	長谷川 孝 (9 期)	
	副 会 長	増山 一夫 (5 期)	佐藤 和男 (5 期)
		柏崎 和己 (7 期)	荒川 浩幸 (21 期)
	会 計	北井 達也 (24 期)	中村 亜紀 (25 期)
		海老沼信子 (31 期)	
	会計監査	加藤 春美 (7 期)	山田 和美 (25 期)
	総 務	山中日富美 (22 期)	
理 事	吉田 和夫 (5 期)	大竹 幾子 (5 期)	
	神島 国治 (7 期)	神島 馨 (9 期)	
	福島 洋二 (15 期)	福島 正浩 (16 期)	
	片岡 弘美 (16 期)	川島 正光 (17 期)	
	高橋 俊一 (17 期)	藪下 和弘 (17 期)	
	若林 弘美 (17 期)	渡邊 俊夫 (18 期)	
	鎌倉 博幸 (18 期)	保戸山陽一 (19 期)	
	岩下 浩之 (21 期)	斎藤 健 (21 期)	
	増渕 宏和 (22 期)	飯沼 邦章 (24 期)	
	岡部 秀幸 (26 期)	須田 尚男 (28 期)	
	神山 拓之 (29 期)	漆原 康史 (31 期)	
事 務 局 主 任	田原 千晶 (30 期)		
	横地 夏彦 (24 期)	石原 彩野 (47 期)	
	長山 航貴 (54 期)		

《教員》
青木 一男
西沢 敏
大島 秀郎
飯村友季子
中島 亨
木村 豪
北川 嘉則
塩谷 隼冬
柳田真之介 (敬称略)
お世話になりました、ありがとうございました。
工平 悠加
小藤 清
古口 敏夫
櫻井 浩
塩原 崇
吉田 昌平
木村 俊哉
高山 洋太

令和四年度
退職教職員

母校のようす

八月に、令和五年度全国高等学校総合体育大会が北海道で、全国高等学校総合文化祭が鹿児島県で開催され、母校の活躍が光った。

〈運動部〉

インターハイ

◇柔道部(男女)

男子団体二回戦敗退

個人戦男子 100kg級 三位

73kg級 五位

女子個人戦 78kg級 五位



酒井選手 片山選手 若菜選手

◇ハンドボール部

一回戦敗退

◇なぎなた部

団体予選トーナメント敗退
個人試合 決勝リーグ進出

◇バレーボール部

二回戦敗退

各種大会

◇ラグビー部

第十回全国高等学校

七人制ラグビー大会 五位

第一〇三回全国高等学校

ラグビー選手権栃木大会

優勝

二十四年連続二十九回目の花園出場。



◇バレーボール部女子

第七十六回全国高等学校

バレーボール選手権栃木大会

優勝

二年ぶり三十七回目の全国大会出場。



◇陸上部女子

栃木県高等学校駅伝競走大会

三位

◇野球部

第一〇五回全国高等学校

野球選手権栃木大会

ベスト4

二〇二三年

栃木県高校野球秋季大会

ベスト4

◇サッカー部

第一〇二回全国高等学校

サッカー選手権栃木大会

準優勝



二十二年ぶりの決勝進出 中田勇樹監督のコメント

決勝戦では多くの方が応援に来て頂き本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

二十二年ぶりに決勝に進出できたのは生徒の努力の成果です。また、監督としては恩師大橋先生から受け継いだ「繋ぐ」サッカーを徹底し、技術で多くの人を魅了する事が体現できたことをうれしく思います。今後も全国大会出場を目標に生徒が思いきり活動できる環境作りを心掛けていきます。今後ともご支援、ご協力よろしく願います。

〈文化部〉

全国総合文化祭

◇囲碁将棋部

女子個人 五位



◇書道部

栃木県代表として作品の出品。



各種展覧会で入選・入賞

◇書道部

第二十四回高校生国際美術展

入選三名

第四十七回ふれあい書道展

入賞三名

◇囲碁将棋部

第四十五回栃木県高等学校

総合文化祭・囲碁大会

新人戦 体 優勝

個人戦 優勝

〈同好会・愛好会〉

近年、生徒からの要望により設立された同好会、愛好会があるので紹介する。いずれの会も活発に活動しており、今後の発展が期待されている。

○フットサル同好会

令和元年七月に有志が集まって活動を開始し、十一月に正式に愛好会となった。令和三年度からJFA全日本U-18フットサル選手権に毎年出場し、準優勝という実力を有している。三学年合わせて四十名近くの部員を擁し、県大会での優勝を目指して頑張っているところである。



○ソフトテニス愛好会

令和四年度より活動を開始したばかりの愛好会であるが、こちらも四十名を超える大所帯となっている。中学校での経験を持つ生徒が高校でもソフトテニスを続けることができ、それぞれの目標に向けて日々の練習に励んでいる。栃木県高等学校体育連盟にも所属し、公式の大会にもすべて参加している。



文化祭では、各クラスによって準備された展示、参加型のゲームなどがあったが、飲食物の販売も

文化祭

令和五年九月九日(土)、十日(日)に文化祭が、十月三日(火)に体育祭が行われた。新型コロナウイルスの流行が始まった令和二年からの三年間、中止、あるいは関係者のみ入場を可とするなど特殊な形で行わざるを得なかったが、今年度は従来通りの形で実施された。

第六十回国学院祭「二陽来復」 君の輝く場所が國栃にある



行われて、コロナ禍以前に戻ったという感を強くさせた。また特に人気を博したのは、応援部の公演である。入場制限が必要なほどの



体育祭は四年ぶりの実施となり、これを機に「借り人競争」など、新しい種目も加えられた。以前からの種目で盛り上がりを見せたのは、やはり「部対抗リレー」と「担任送り」。部対抗リレーでは選手の入場前から熱い応援合戦が始まり、スタート後は選手が各部の威信をかけて全力で競い合った。担任送りでは三年生の各クラスが工夫を凝らした仮装を用意し、恥ずかしがる三年生担任をよそに会場は大いに楽しんでいた。

体育祭

人気ぶりで、四十周年記念館の客席が満員になるほど盛況であった。

永吉奨学会

第9期卒業生永吉信夫氏が母校の発展に寄与すべく浄財をもって平成26年6月に設立されました。学業が優秀であり、向上心を持つ生徒への奨学金の給付と文化部の中から、部活動に必要な物品の購入への給付を行います。毎年度150万円の資金を20年間にわたり給付します。

令和4年度の奨学金支給については、永吉奨学金給付規定に則り、以下の通りに支給しました。(不足分は前年度より補填)

①文化部（吹奏楽部、箏曲部、美術部）に対して、諸活動に必要な道具等の購入のための支給

・吹奏楽部

クラリネット2本 177,760円

トランペット2本 589,160円

・箏曲部

弦、糸しめ、尾布、口前袋 135,000円

・美術部

木彫り制作道具一式 96,173円

②K Tベクトルプロジェクト（学力最上位層の指導）に対して、さらなる学力向上を目指し、書籍代や通信添削の費用として支給

・書籍 49,015円

・通信添削 311,400円

③学業優秀者（3名）への奨学金として支給 150,000円

合計 1,508,508円



同窓会設立六十周年
記念事業について

令和五年六月十七日の総会において協議したところ、現段階では安全と安心が確保されていないこと、それからここにきて数年が過ぎており記念講演並びに懇親会は六十五周年あるいは七十年に行うことの方が良いのではないかな

りました。尚、同窓会の記念事業の一つとして三年前の学校創立六十二周年には大型モニターテレビ四十二台を全クラスに寄贈いたしました。同窓会設立六十周年記念事業

委員長 長谷川 孝

《三十年會費納入者芳名》

氏名上の数字は卒業期（ ）内は旧姓

【令和三年度分】

※第四十五号に誤りがありましたので、改めて掲載をさせていただきました。

四万円	22宮田泰夫
一田口勝	26内田めぐみ湯村
二万円	26安達賢
1白井キミ子(厚木)	26川原薫子(下出)
1心花佑子	26高花義浩
4岩村迪世(田村)	26松本博
4長竹欽悟	26横地修
5武政照雄	27岡田渉
6石川千恵子(飯塚)	27花浦ひろみ(緑川)
6寺内敏子	28須田尚男
7鈴木惠美子	28小野真
7吉岡ふみ江(鳥島)	28矢島司
8猿山保子	28山口麗子
9河村恵子	28渡邊春司
11岩上好子(栃木)	28渡邊八州郎
11樋山博江荒川)	二万円
15中村留美子(三關)	5照内サダ子(小藤
16植原雅章	八千円
16渡部文義	22門井明美(小林)
17島村圭一	三千円
17森田光世	15梅沢静子
17高見沢マリ	二千円
18荻原恵美子(福富)	1鈴木暁子(加山)
18平泉信也	3中野ミサ子(白沢
20佐藤有里子	3野沢民子(青柳
22飯塚英子	5大塚光男
22上沢加代子(中野)	5高橋秀子(青木)

【令和四年度分】

8 齊藤隆裕
 9 今井不二夫和賀井)
 9 岡田清
 9 小坂由子(大森)
 11 宇賀孝夫
 11 澤田幸雄
 13 小原澤公康
 13 鈴木貞舜
 13 吉田好伸
 16 瓦井恵子(日笠)
 16 増田和浩
 17 山田朱実
 18 大貫幸子(北原)
 18 木村直樹
 21 田中富太郎
 21 富田周利
 22 阿久津豊
 22 比護純子(閑塚)
 22 布施直人
 23 村田浩子(桐敷)
 23 山口淑子
 24 山本賢
 25 山根伸行
 25 内藤雅樹
 25 中島正高
 26 大豆生田吉子
 26 大豆生田元子
 26 田邊日出幸
 26 福井洋介
 27 岩瀬裕彦
 27 植野葉子
 28 臼井和徳
 28 小野直美小曾戸
 28 吉田恵(飯田)

- 1 巫部倭文彦
- 2 橋本雄司
- 3 川田保
- 4 坂本忠之
- 5 加藤幸子(大塚)
- 5 長秀明
- 5 中西幸子(篠原)
- 6 江田光好
- 6 田村初恵(川田)
- 6 日下はる美(大川)
- 6 日下芳雄
- 8 土井智
- 9 常田美恵子(沼尾)
- 9 松本幸子
- 10 鈴木幸子(福田)
- 11 青木公子(多賀谷)
- 11 中西栄一
- 11 人見達
- 11 山喜雄子(小竹)
- 12 平井明美(鈴木)
- 12 山ノ井有三
- 13 石川晴美(神山)
- 13 渡辺弘
- 14 兒玉幸子(佐瀬)
- 15 松田玉恵(奥)
- 17 川崎秀代(磯井)
- 17 齋藤倫代
- 18 森美雪
- 19 関根郁子(稻橋)

19 武石正恵(小森谷)	19 金沢由紀裕
18 藤原幸雄	19 佐々木曉子(小島)
20 斉藤美奈子(深水)	20 19 松田安紀
21 服部正幸	20 小湊充
23 稲葉洋	21 20 中島敏博
23 宇都淳子(大橋)	21 20 大久保久美子(飯島)
24 加藤ふみ(安藤)	21 21 田中富太郎
25 麻生直征	22 21 富田周利
26 岡部秀幸	22 22 富田泰夫
26 高花義浩	22 22 山田実
26 初見武英	23 23 山崎由美(伊藤)
27 降旗裕生	23 23 渡辺伸介(中島)
27 小倉美由紀(赤羽根)	24 24 上野隆幸
28 荒井清志	24 24 大塚由美子(天谷)
28 河口かよ子(齋藤)	27 27 山本賢
28 三浦恵一	27 27 田邊日出幸
29 矢島司	28 28 石郷岡光
29 山口麗子(中田)	28 28 金澤徹
29 青木昌子(中田)	29 29 塚本彰
29 青柳佳樹	29 29 小出水宏泰
29 井岡法華(福田)	29 29 齋藤幸宏
29 伊澤真樹子	29 29 田中利尚
29 内田雅博	
29 坂本敦子(越沼)	
4 一万六千円	
4 相子カツ子(田村)	
22 稲垣真理(村田)	
22 二千元	
1 鈴木暁子(加山)	
3 中野ミサ子(白沢)	
5 知久光男	
5 増田秀夫(川俣)	
6 間中宣夫	
7 糸井良治(古内)	
9 今井不二夫(和賀井)	
9 岡田清	
9 川田等	
9 石川正巳	
11 稲見恵子(福田)	
11 宇賀孝夫	
11 菅沼知子(野中)	
11 諏訪雅俊	
12 飯塚敦志	
13 吉田好伸	
14 松本久代(生井)	
17 新井登代子(中山)	
18 白石静代	
18 鈴木みどり(鈴木)	
18 中悦子(小野寺)	
18 寺内望	
森茂樹	

第104回全国高等学校野球選手権大会 ベスト16

甲子園寄付者芳名一覽

～ご協力ありがとうございました～

會田眞梨奈	片柳愛美	須藤 亮	福田倫子
會田康範	加藤 賢	関口 守	福田 豊
青木利昌	金澤 徹	セキグチケイコ	福富善明
赤木香理	金子将司	関塚能理雄	藤田欣範
阿久津豊	神山雅仁	関根美和	藤田俊孝
安達 賢	河上 紫	芹澤玲子	藤田靖夫
阿部泰江	川鍋佳美	早乙女千幸	藤山美恵子
新井達雄	川原薫子	高久晃子	舟屋佳子
新井弥恭	岸本拓之	高橋賢佑	古山 輝
荒井吉雄	菊元 靖	匿名希望	保戸山陽一
荒川浩幸	岸 正人	竹澤奈保子	前田芙未乃
荒川泰幸	北井達也	竹下哲之	牧田夏由子
荒引統弘	北尾滋敏	田原千晶	増山一夫
飯島康弘	狐塚恵美子	田沼ひつみ	増渕俊仁
飯沼邦章	木村圭佑	田村祐子	町田朋子
池田亜季子	木村好晴	田村雄一朗	松浦恵真
石塚 博	久保誠司	田村七瀬	松岡矢須美
市川敬太	栗原 清	鍛冶舍康一	水本 章
伊東諒	栗原庸江	千葉一憲	水嶋彩乃
伊東真奈	河野幹大	長 博信	宮澤廣重
稲葉光弘	5期生友遊会	手塚 均	武藤晃靖
稲葉幸子	小口 浩	手呂内幸代	室井昭彦
稲木順子	小久保吉雄	鳥海貴史	森泉泰彰
猪俣武憲	小林直人	鳥崎 忠	森下桂子
岩下浩之	小藤克敏	内藤雅樹	森伸太郎
上羽 健	小藤昌子	永井伸行	森田理恵
鶴養健二	齋藤博子	奈良美咲	矢口隼大
宇賀神由希子	坂本裕美	沼部竜馬	谷中田聖子
梅田貢市	坂本裕子	野口勇樹	柳田珠恵
漆原康史	佐藤和男	野口涼太	藪下和弘
餌取仁司	佐藤貴昭	野澤国明	矢部礼子
江幡 穫	匿名希望	野村周平	山根拓也
海老沼信子	佐藤弘季	野村拓矢	結田篤史
海老澤昌利	佐山武尊	萩原理恵	山中日富美
遠藤慎也	地石良子	長谷川聡	横地夏彦
大阿久岩貴	篠原芳江	長谷川孝	吉田有佑
大藏千鶴	清水 薫	服部正幸	米岡大志
大澤史弥	下山 忍	林 正行	和久井明
大島 剛	集貝雅彦	比護純子	渡辺裕司
オカノゾミ	新藤涼帆	平岩和之	渡辺秀夫
太田映子	杉井晴仁	平賀修一	渡辺ひとみ
岡本秀明	鈴木貴司	平野勝也	渡部僚一
尾崎真弓	鈴木誠人	深谷千恵子	
落合幹彦	鈴木麻衣子	深谷典昭	
片崎和巳	須田尚男	福島謙治	
片柳和希	須藤 稔	福田孝太朗	

お振り込みの際、卒業期・卒業年の記入がなされていた方を掲載しております。
掲載漏れ、誤字等ご容赦くださいますようお願い申し上げます。(敬称略・50 音順)